



2016年3月期第1四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2015年8月4日

2016年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社
上席執行役員 IR・広報室担当
北畠 一明

2015年8月4日

決算総括：売上・営業利益ともに二桁伸長

	14年度Q1	15年度Q1	増減率	(億円) 為替除く
売上高	1,149	1,287	+12%	+5%
粗利益	607 (52.8%)	690 (53.7%)	+14%	+7%
一般管理費	379 (33.0%)	417 (32.5%)	+10%	+2%
開発費	67 (5.8%)	79 (6.1%)	+18%	+10%
営業利益	161 (14.0%)	194 (15.1%)	+21%	+18%
(のれん等償却除く)	202 (17.6%)	245 (19.1%)	+21%	+15%
経常利益	144 (12.6%)	206 (16.0%)	+43%	
純利益	84 (7.3%)	145 (11.3%)	+73%	
期中平均レート	US\$ 102円	121円		
	EUR 140円	134円		

- 売上 : 全カンパニーで好調な出だし。海外カテーテル、ニューロが牽引し二桁伸長
- 営業利益 : 売上拡大に伴う粗利益の増加が販管費の増加を上回る
- 経常利益 : 前年同期の為替差損(8億)に対し、今年度は差益(18億)
- 純利益 : 特損の減少。税制改正、過年度税額の修正による法人税負担率の減少

特別損益・法人税

(億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	
経常利益	144	206	前同比+43%
特別損益	-7	+0.4	14年度 固定資産処分損 -3 減損 -4
税前利益	138	206	前同比+50%
法人税等合計 法人税等負担率	-54 39%	-61 30%	税制改正 -6 過年度調整等 -11
純利益	84	145	前同比+73%



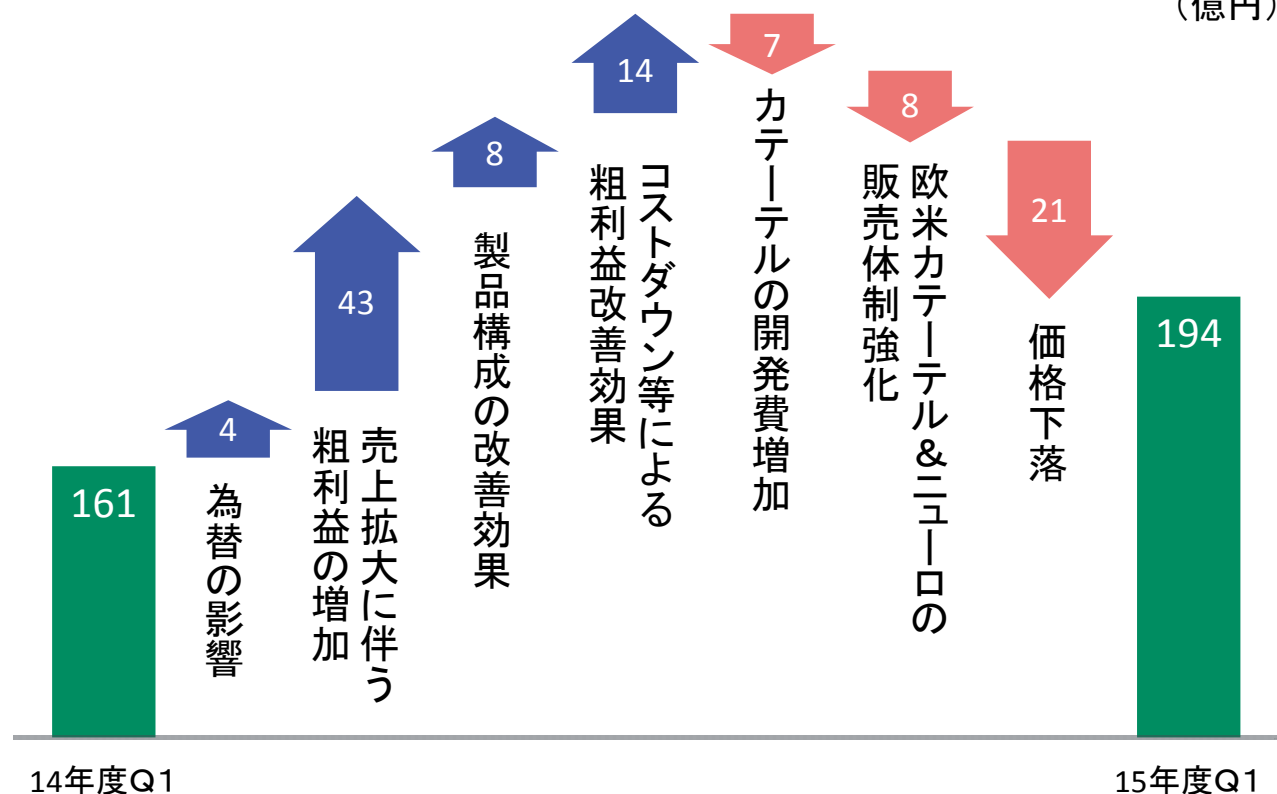
© Terumo Corporation

2015/8/4

3/11

営業利益増減分析

(億円)

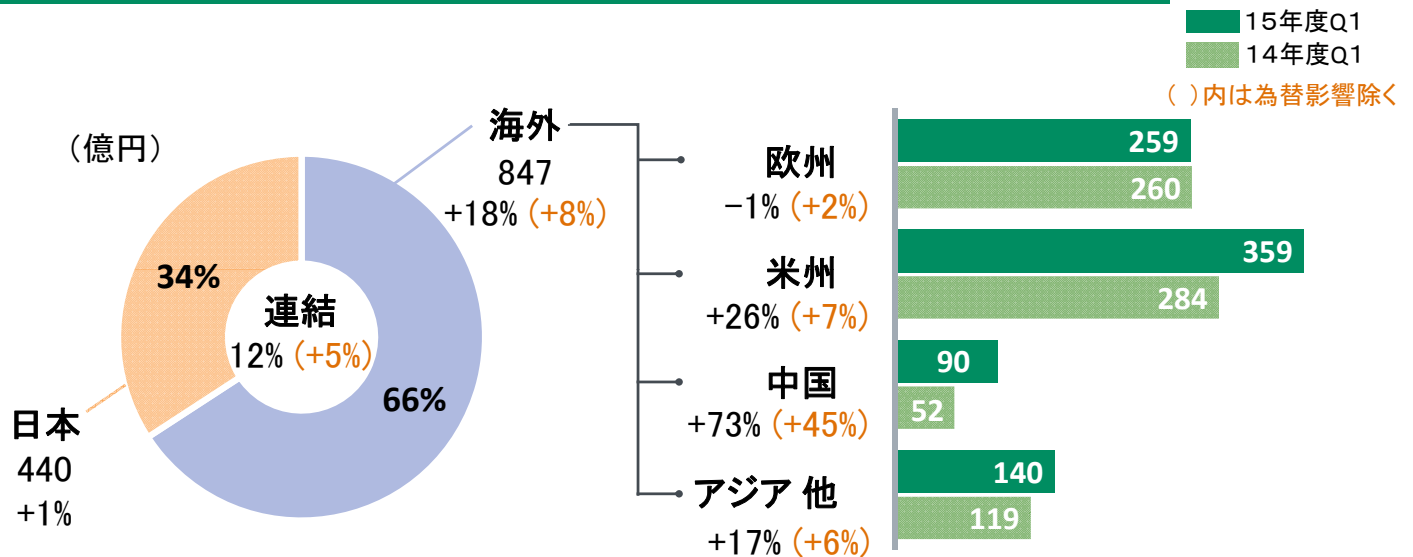


© Terumo Corporation

2015/8/4

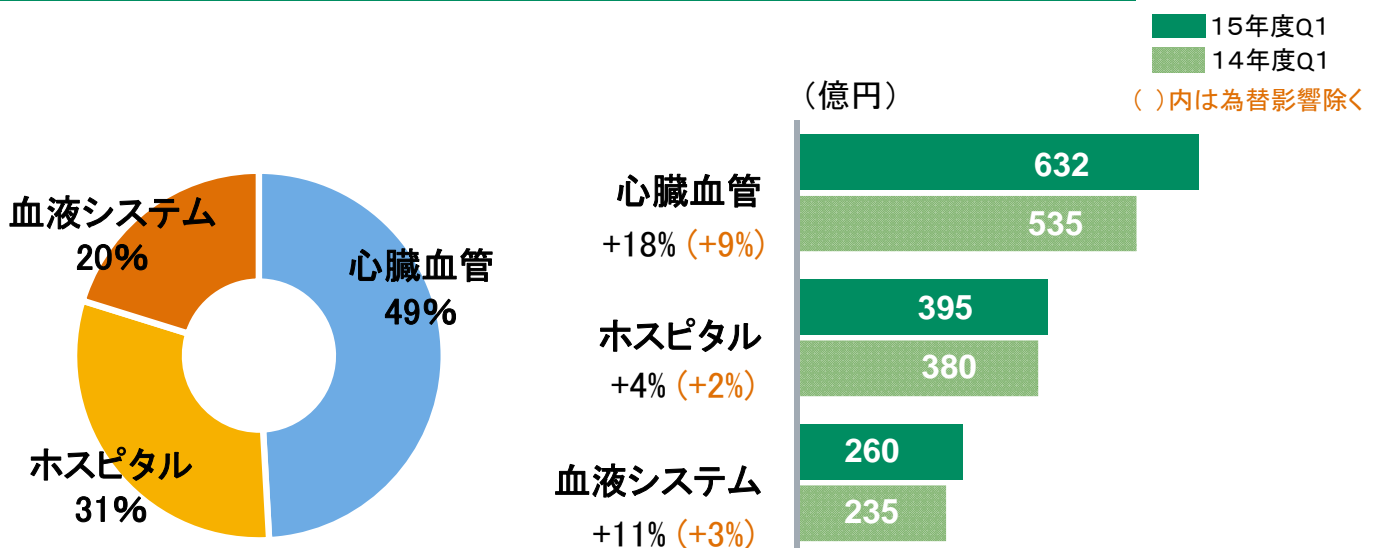
4/11

地域別売上高



- 日本 : ホスピタルが全体を牽引し増収達成
- 欧州 : ホスピタルにおけるポートフォリオ再編および円高ユーロ安の影響
- 米州 : カテーテルやニューロの伸長に加えて、為替も後押し
- 中国 : 昨年度行った商流の見直しが完了

カンパニー別売上高



- 全カンパニーにおいて、為替の影響を除いても増収を達成
- 心臓血管および血液システムにおいて、海外が牽引し二桁伸長

心臓血管カンパニー：二桁の増収増益を達成

(億円)

	14年度Q1	15年度Q1	増減率	為替除く
売上高	535	632	+18%	+9%
事業利益(率)	114 (21%)	141 (22%)	+24%	+22%

<売上面>

- 海外におけるカテーテルやニューロの売上伸長 + 72億
- 中国での商流の見直し完了。顧客カバー率の拡大 + 22億
- 欧州を中心に、Ultimaster(新DES)が順調に拡大

<利益面>

- 海外カテーテルおよびニューロの売上拡大による利益増とポートフォリオミックスの改善

ホスピタルカンパニー：収益性は回復基調

(億円)

	14年度Q1	15年度Q1	増減率	為替除く
売上高	380	395	+4%	+2%
事業利益(率)	46 (12%)	56 (14%)	+23%	+25%

<売上面>

- 日本：市場環境に回復の兆し + 13億
- 欧米：ポートフォリオ再編の取り組み ▲ 7億

<利益面>

- 高収益ビジネス(D&D、DM)の拡大によるポートフォリオミックスの改善

血液システムカンパニー：新興国、アフェレシス治療が継続伸長

(億円)

	14年度Q1	15年度Q1	増減率	為替除く
売上高	235	260	+11%	+3%
事業利益(率)	42 (18%)	54 (21%)	+28%	+35%

<売上面>

- アフェレシス治療や細胞増殖システムが継続成長 +14億
- 新興国中心に成分採血が伸長 +9億

<利益面>

- Q1では米国・血液センターに対する新価格への移行遅れ。Q2以降顕在化
- 米国生産・欧州販売製品での対ドル・ユーロ安の影響



© Terumo Corporation

2015/8/4

9/11

トピックス

全社

- コーポレートガバナンスの強化等を目指し、監査等委員会設置会社へ移行
- グローバル本社機能の強化を目的に、6つのCXOを導入

心臓血管

- ペリフェラルステント“Misago”が、米国において日本企業として初となるPMA (Premarket Approval)を取得
- 仏ART社による生体吸収性ステントのCE認証取得

ホスピタル

- 皮内投与型デバイス(インフルエンザワクチン)の日本における製造販売承認を申請
- 環境に優しく、コスト低減も期待できる新輸液容器を生産開始

血液システム

- 血液治療用分離装置“Spectra Optia”：米国で骨髄液分離への適応拡大
- 米国コロラド州・デンバーに建設されたグローバル本社・新社屋が完成



© Terumo Corporation

2015/8/4

10/11

15年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域	ローンチ
心臓	新DES(Ultimaster)	◎◎ ★	日	
	次期血栓吸引カテーテル		欧・南米・亜	
ペリフェラル	ステント(膝上)	★	米	済み
	ステント細径化(Misago)		欧	
	PTAバルーン(膝上)		欧・米	
	PTAバルーン(膝下)		日	
	塞栓用ビーズ	★	欧	済み
脳	コイルアシスト・ステント	◎	日	済み
	液体塞栓剤	★	欧	済み
	プロテクションデバイス	★	欧	

◎ 業績貢献大、★ イノベーション度高



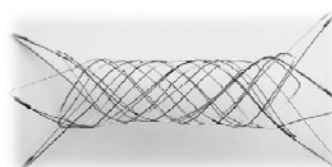
領域	製品		地域	ローンチ
CV	遠心ポンプ・ディスポ(PCPS用)		日	
血液	自動製剤化システム	★	日	



ステント膝上 (Misago)
米国ローンチ



液体塞栓剤 (PHIL)
一剤型プレフィルドシリンジ



コイルアシストステント (LVIS Jr)
世界最細デリバリーシステム



塞栓用ビーズ (LifePearl)
薬剤溶出性、欧州ローンチ

© Terumo Corporation

2015/8/4

11/11

2016年3月期 第1四半期決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2015年3月期 第1四半期累計			2016年3月期 第1四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
IS	8,552	27,992	36,544	7,966	-6.9%	35,485	26.8%	43,451	18.9%
ニューロバスキュラー	563	3,669	4,232	485	-13.8%	5,545	51.1%	6,031	42.5%
CV	2,137	7,435	9,573	2,361	10.5%	7,984	7.4%	10,346	8.1%
血管	503	2,625	3,129	504	0.1%	2,862	9.0%	3,366	7.6%
心臓血管カンパニー	11,756	41,723	53,480	11,317	-3.7%	51,877	24.3%	63,195	18.2%
基盤医療器	11,432	7,044	18,477	11,794	3.2%	6,872	-2.4%	18,667	1.0%
D&D	12,604	1,260	13,864	13,254	5.2%	1,419	12.6%	14,674	5.8%
DM・ヘルスケア	4,879	783	5,663	5,109	4.7%	1,032	31.8%	6,142	8.5%
ホスピタルカンパニー	28,916	9,088	38,005	30,159	4.3%	9,325	2.6%	39,484	3.9%
血液システムカンパニー	2,740	20,718	23,459	2,509	-8.4%	23,471	13.3%	25,980	10.7%
計	43,414	71,531	114,945	43,986	1.3%	84,673	18.4%	128,660	11.9%

(期中平均為替レート)

(US\$1=¥102.16)
(EUR1=¥140.07)

(US\$1=¥121.43)
(EUR1=¥134.20)

キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2015年3月期 第1四半期累計	2016年3月期 第1四半期累計
営業キャッシュ・フロー	△ 504	4,734
投資キャッシュ・フロー	△ 10,674	△ 10,978
フリーキャッシュ・フロー	△ 11,178	△ 6,244
財務キャッシュ・フロー	1,209	△ 4,618
現金及び現金同等物の換算差額	△ 943	1,851
現金及び現金同等物の増減	△ 10,913	△ 9,011
現金及び現金同等物の期首残高	92,497	176,662
現金及び現金同等物の期末残高	81,584	167,650

参考情報

	2015年3月期 第1四半期累計	2016年3月期 第1四半期累計	2016年3月期 見通し
研究開発費	6,666	7,856	35,000
設備投資額	9,167	8,067	42,000
減価償却費	9,724	10,867	45,000
一株当たり当期純利益(円)	22.11	38.29	104.04

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があります。実際の実績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。